TOYOTOMI

トヨトミ 超音波加湿器

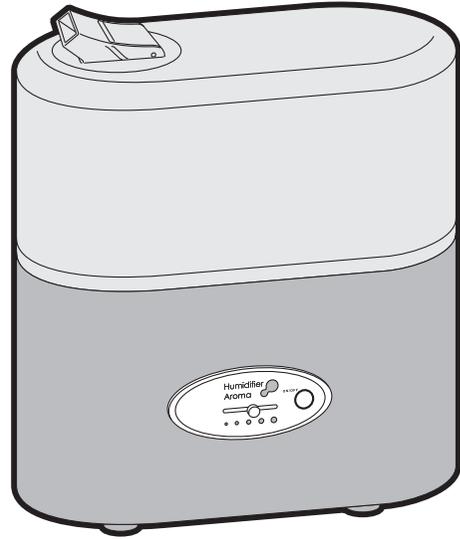
型式

加湿量コントロール付

TUH-A350

ティー ユー エッチ エー

取扱説明書

〈保証書付〉

このたびは、トヨトミ超音波加湿器をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

ご使用の前に、必ずこの「取扱説明書」をお読みいただき、正しくご使用ください。お読みになった後は、大切に保管していただき、取扱いのわからないときや、不具合が生じたときにお役立てください。

目　次

C05-2　株式会社トヨトミ　4454000701

1 安全のために必ずお守りください

●お使いになる人や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、本機を安全に正しく使用するために、必ずお守りいただくことを説明しています。
●ここに示した表示は、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告(WARNING)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意(CAUTION)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容を、次の絵表示で区分しています。

	この絵表示は、「禁止」されている内容です。		この絵表示は、必ずしていただく「指示」内容です。

●説明文中の**「お願い」**事項は、本機を誤りなく正しくお使いいただくための内容が記載されています。

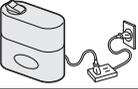
⚠警告(WARNING)

●電源は交流100V以外で使用しない。
100V以外の電源を使うと、電気部品が過熱したり、火災・感電の原因になります。

禁止

●本体を水につけない、水をかけない、直接水を入れない。
送風口や吸気口(製品の底面にある)から水が回りこんで火災・感電・ショートの原因になります。

●幼児の手の届く所で使用しない。
感電・部品を誤飲する原因になります。

●壁コンセントから延長コードを使用して運転しない。または他の電気器具とは共用しない。
火災や感電、電源プラグの発熱の原因になります。

●電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込む。
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。

●電源コードは、束ねたり、引っ張ったり、物を載せたり、加熱したり、加工したり、物と物との間にはさんだりしない。
電源コードが破損する原因になります。
傷んだまま使用すると感電や火災などの原因になります。

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。

●本体内部のお手入れに下記の洗浄剤を使用しない。
塩素系・酸性・アルカリ性・電気ポット用洗浄剤(クエン酸等)
本体内部に洗浄剤が残り、有毒ガス発生や水漏れの原因になります。

●吹出口、吸気口に異物を入れない。
感電の原因になります。

●排水するときは、水タンクをはずし、必ず右図の方向に排水してください。
操作部側に排水すると、水が回りこんで火災・感電・ショートの原因になります。

●一般家庭の居室以外で使わない。
特に温室など高湿度で連続使用すると、器具の寿命が短くなったり感電・火災のおそれがあります。
また、食品・動植物・楽器・美術品等の保存などの特殊用途に使用しますと、加湿器自体ならびにこれらの品物の品質低下の原因になります。

●改造はしない。また修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理・改造をおこなわない。
火災・感電・けがの原因になります。

⚠警告(WARNING)

●異常時(水漏れ、こげくさい等)は、運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店または、別紙の お客様相談窓口一覧 にご相談ください。
異常のまま運転を続けると、故障や感電·火災の原因になります。

●修理は、お買い求めの販売店または、別紙の お客様相談窓口一覧 にご相談ください。
ご自分で修理をされ、修理に不備があると、感電·火災等の原因になります。

⚠注意(CAUTION)

●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って抜く。
コードをもって抜くと芯線が破損してショート·感電·発火の原因になります。

●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。
けがややけどの原因になったり、絶縁劣化による感電·漏電火災の原因になります。

●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しない。
電源コードや電源プラグが異常に発熱し、溶けたり変形して、感電·ショート·発火の原因になります。また、コンセントの差し込みがゆるいと感じた時は工事業者に依頼してコンセントを取り替えてください。コンセントを交換しても異常に発熱している場合は販売店に修理依頼してください。

●落とした水タンク·本体を使わない。
そのまま使うと破損箇所から水漏れしてショート·感電·発火の原因になります。

●暖房機(熱源)の近くや、上にのせて使用しない。
火災·故障の原因になります。

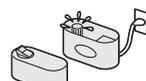
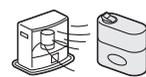
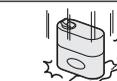
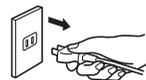
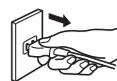
●水タンクの水は毎日新しい水道水と入れかえ、本体内部は常に清潔を保つよう定期的に掃除する。
掃除せずにお使いになると、汚れや水あかにより、カビや雑菌が繁殖し悪臭の原因になります。まれに体質によっては、過敏に反応し、健康によくないことがあります。
この場合は医師に相談してください。

●水は必ず水道水を使用し、汚れた水やお湯、洗剤などは入れない。
水に薬品·香料·精油などを入れない。
健康を害することや、器具の故障や変形の原因になります。
●水タンク内にアロマオイルを入れない。
水タンクが変形、破損して水漏れしたり、器具の故障の原因になります。

●水タンクや吹出口をはずしたまま、電源を入れない。
水が飛び散ったり、水柱に手を触れると痛みを感じたりして危険です。
●水がないままや、横転、逆さにしたままで電源を入れない。また、電源を入れたまま横転や水を捨てない。
振動子がこわれ、故障の原因になります。

●外出するとき、使用しないとき、保管するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
けがややけど、絶縁劣化による感電·漏電火災の原因になります。

●給水は、必ず水タンクに給水する。水そう部に直接給水しない。
送風口等に水滴が入ったりして、漏電·感電のおそれがあります。

●水を補給するために水タンクをはずすときは、必ず「電源スイッチ」を「OFF」にする。
送風口に水滴が入ったりして、故障の原因になります。

使用上のご注意とお願い

●直射日光のあたるところや暖房器具の近くに置かない。
変形・変質や故障の原因になります。

●本体の上に物をのせたり、乗ったりしない。
転倒による本体の破損・故障の原因になります。

●本体をさかさまにしない。
故障の原因になります。

●吸気口・吹出口をふさがず、室内の空気がよく循環する場所に置く。
性能低下や故障の原因になります。

●移動するときは、傾けたり、ゆすったりしない。
水がこぼれます。
水そう内の水量が増えすぎて、加湿しにくくなります。

●凍結に気をつける。
凍結したまま使うと、故障の原因になります。
凍結のおそれのあるときは、水タンクの水を捨ててください。

●窓や冷たい壁からは、できるだけ離して風通しの良い場所に置く。
窓や冷たい壁に霧がかかりますと、水滴となって窓や壁、床につくことがあり、カビなどが発生することがあります。風通しの良い場所で使用してください。

●加湿された風を直接家具・電気製品・壁・カーテンなどに当てない。
家具や壁にシミが付いたり、故障・変形の原因になります。

炎色反応について

ガス器具の近くでご使用になりますと、ガスの炎（通常は青色）がだいだい色になることがあります。これは水中に溶けているカルシウムなどが加熱されるときに特有の光を発する現象なので心配ありません。なるべく離してご使用ください。

白い粉について

お使いになる水によっては、水中に溶解しているカルシウムなどが白い粉となって、テレビや家具などに付着することがあります。
付着したときは、やわらかい布などで早めにふきとってください。

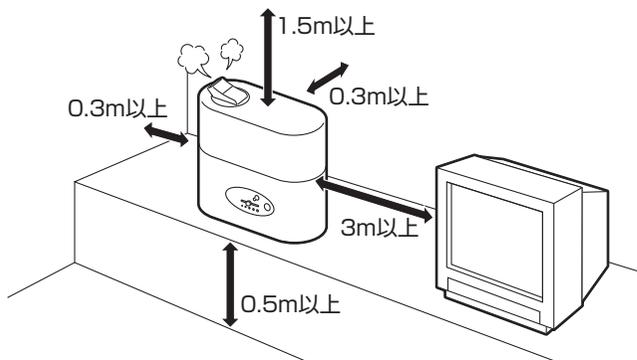
アロマオイルについて

アロマポット・アロマキャップ・スポンジ以外（吹出口をはめ込む本体側を含む）にアロマオイルが付着した時は、きれいに拭き取ってください。変色・変形・固着の原因になることがあります。（アロマポットにまだアロマオイルが入っている時は吹出口を水タンクから取りはずしてから給水などの作業をしてください。）
本体内部までアロマオイルが入ったおそれがある時は、本体内部の水道水を捨てて、タンクキャップや本体内部の振動子と水そう部を洗浄してください。
（6 **日常の点検・手入れ** 参照）
また、水タンク内には絶対にアロマオイルを入れないでください。
水タンクの変形や破損して水漏れしたり、器具の故障の原因になります。

おやすみの際には…

本製品には自動加湿調節機能が備わっておりません。
夜間は室温が下がり結露しやすくなりますので、おやすみの際には運転を停止させるか、ひかえめな設定にしてください。

2 設置場所について

設置場所の基準寸法のめやす

- 図のように、周囲との距離を充分にとる。
（同じ部屋で加湿器を2台以上使用する場合は、間隔を0.6m以上離す。）
- テレビ･オーディオ等のAV、パソコン機器から3m以上離し、できるだけ別のコンセントを使用する。
電波の弱い地域では、映像の乱れや雑音が出ることがあります。

こんな場所には設置しない

落下物の心配がある場所、凹凸のある場所では使用しない
不安定な物をのせた棚などの下、凹凸がある不安定な場所では使用しないでください。思わぬ事故や誤作動の原因となります。

窓や冷たい壁からは、できるだけ離して風通しの良い場所で使用する
窓や冷たい壁に霧がかかりますと、水滴となって窓や壁、床につくことがあり、カビなどが発生することがあります。風通しの良い場所で使用してください。

直射日光があたる場所、暖房機の上や近く、温風があたるところ
変形･変色することがあります。また、水タンクの圧力が上がり、霧の出かたが少なくなることがあります。

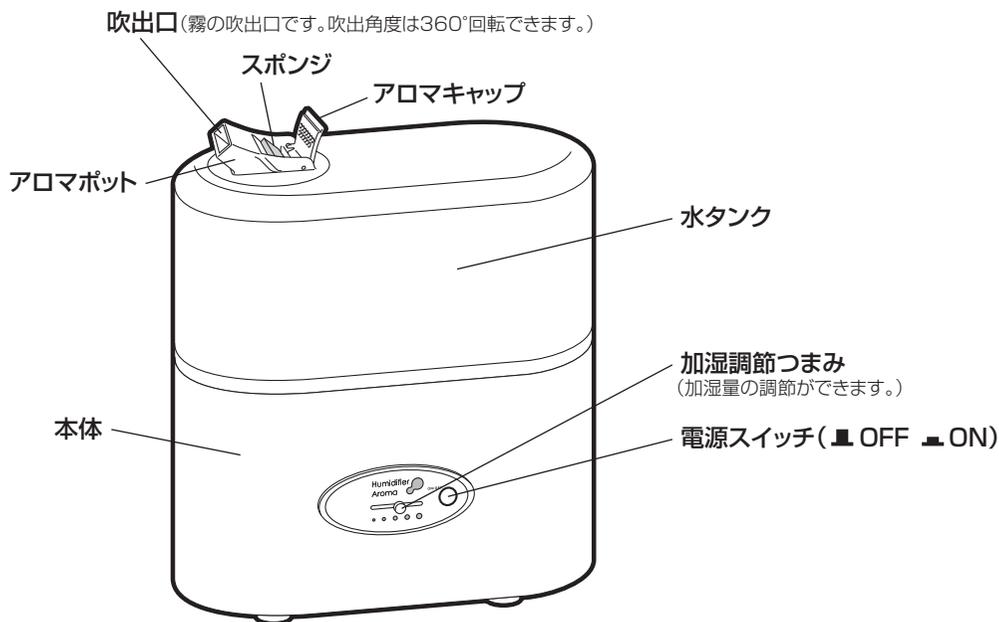
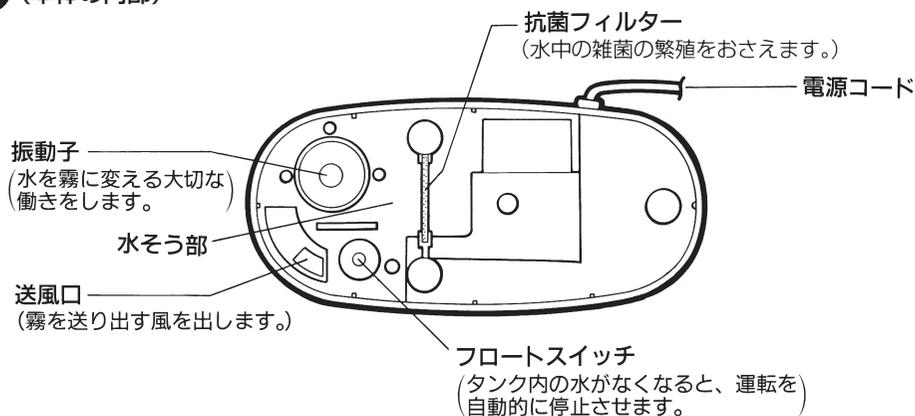
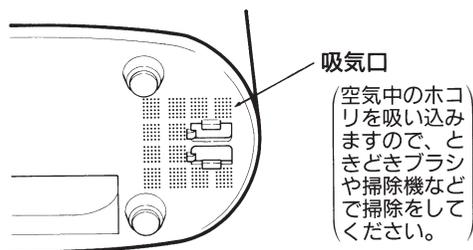
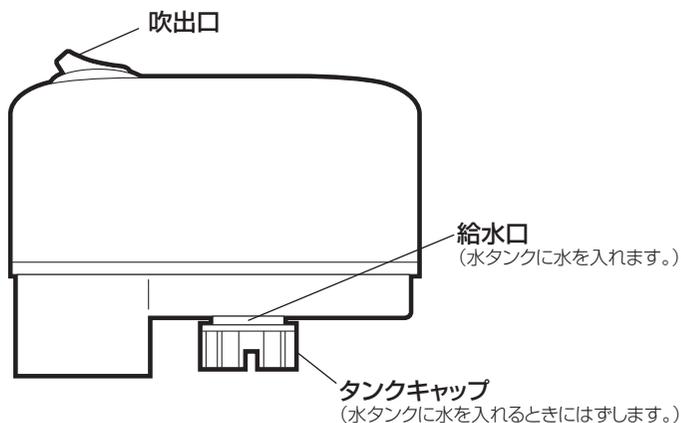
霧が家具･壁･カーテン･天井･電気製品などに直接あたるところ
故障したり、家具などにしみが付いたり、変形の原因になります。

電磁調理器やスピーカーの近くなど、磁気の多いところ
正常に動作しない場合があります。

傾斜のあるところや不安定な場所
本体が傾くと、加湿量が変化したり、フロートスイッチが作動して運転が停止することがあります。

じゅうたん･電気カーペット･ふとんなどの上
毛足が長いじゅうたんの上や、ふとんの上などに置くと、吸気口がふさがれて霧の出かたが悪くなります。また、内部温度が上昇して水があふれたり、安全装置が誤作動することがあります。

3 各部のなまえとはたらき

前 面

内 面 （本体の内部）

底 部

水タンク

4 使用前の準備

1.水タンクを洗います。

	給水は、必ず水タンクに給水する。水そう部に直接給水しない。 送風口に水滴が入ったりして、漏電・感電のおそれがあります。	

①吹出口を水タンクからはずしてください。

お願い

アロマキャップを閉めて吹出口をはずしてから水タンクを移動してください。開けたまま移動すると、オイルがこぼれ、変色・変形する原因になることがあります。

②

②水タンクを本体からはずし、タンクキャップを上にして、左「 」に回して取りはずしてください。

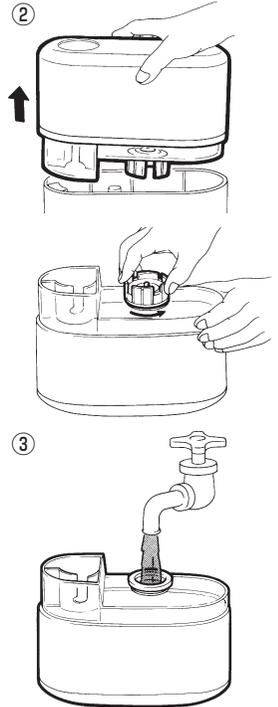
③給水のつど、水タンク内を次の順序で洗ってください。

(1)水タンクに水道水を1～2L(水タンクの約1／2程度)入れてください。

(2)タンクキャップを右「 」へ回して、しっかり締め、ふり洗いして水タンク内の汚れを取り除き、水を捨ててください。

③

お願い

洗剤は使用しないでください。霧の量が少なくなります。

2.水タンクに水道水を入れてください。

	水は必ず水道水を使用し、汚れた水やお湯、洗剤などは入れない。 水に薬品・香料・精油などを入れない。 健康を害することや、器具の故障や変形の原因になります。	
	水タンク内にアロマオイルを入れない。 水タンクが変形、破損して水漏れしたり、器具の故障の原因になります。	
	水を補充するときなどに水タンクをはずすときは、必ず「電源スイッチ」を「OFF」にする。 送風口に水滴が入ったりして故障の原因になります。	

お願い

●水タンクに水を入れるとき、持ち運ぶときなどに、誤って水タンクを落としたりすると破損します。充分に注意してお取り扱いください。

●給水のとき、水タンクの給水口に水道の蛇口を直接差し込んで給水することはおやめください。水タンクが破損することがあります。

①タンクキャップを右「 」に回して、しっかり締め、水タンクを本体にセットしてください。

お願い

水タンクを本体からはずしたまま、放置しないでください。暖房器具の熱や直射日光で温度が上がると、水タンク内の空気がふくらみ、タンクが変形することがあります。

②吹出口を水タンクにセットしてください。

3.電源プラグをコンセントに差し込みます。

●電源プラグを交流100V以上の専用コンセントに差し込んでください。

	電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込む。 ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、異常に発熱し電源プラグが溶けたり変形して感電や火災の原因になります。	

5 使いかた

1.吹出口をお望みの方向に向けます。

●吹出口を霧を出すお望みの方向に向けてください。

お願い

●テレビや家具、カーテンなどに霧が直接かからないよう、吹出口の方向に注意してください。
●電源スイッチを「ON」にしたまま本体を傾けたり、揺らしたり、転倒させないでください。

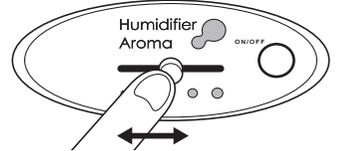
2.電源スイッチを「ON」にします。

●電源スイッチを押して「▬ON」にしてください。

3.加湿量を調節します。

●加湿調節つまみを「 ∘ ∘ ○ ○ ○ 」の間で移動させ、お好みの加湿量に調節してください。

お願い

加湿調節つまみ位置が同じでも霧の量は一定ではありません。水温や室温が低いと霧の量が少なくなり、20〜30分運転すると徐々に多くなります。また、その日の室温や天候でも変化します。長時間連続加湿される場合は注意が必要です。

4.水がなくなったら、水タンクに水を補給します。

お願い

水を補給するために水タンクをはずすときは、必ず「電源スイッチ」を**「OFF」**にしてください。

●水がなくなってきますと、フロートスイッチが働いて、吹出口から霧が出なくなります。
送風を止め（電源スイッチを**「OFF」**に）、水タンクに水を補給してください。

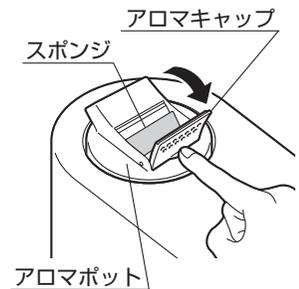
5.霧が多いときは、加湿調節つまみで調節します。

●その時の温度や湿度によって霧で床をぬらすことがあります。
こまめに加湿調節つまみで霧の量を調節してください。

6.アロマポットの使いかた（アロマ運転）

①アロマキャップを開けます。
芳香用のスポンジをアロマポット内へ入れます。（お買い求め時はスポンジはアロマポット内に入っています。）
②アロマオイルを付属のスポイトで吸い上げ、アロマポット内のスポンジに染込ませます。

お願い

●**アロマオイルは、スポイトで3〜5滴を目安にスポンジに染み込ませてください。**
それ以上入れたり、スポンジを取りはずした状態でアロマオイルを滴下すると、こぼれたり、変色･変形･固着の原因になることがあります。
●**アロマポット･アロマキャップ･スポンジ以外にアロマオイルが付着した時は、きれいにふきとってください。**
変形･変色･固着のおそれがあります。

③アロマキャップを閉めて加湿器を運転します。

●**移動するときは…**
アロマキャップを閉めてから移動させてください。
開けたまま移動すると、アロマオイルがこぼれ、変色、変形、固着する原因になることがあります。
●**アロマオイルについて…**
付属のアロマオイルがなくなりましたら、市販されているアロマオイルをお使いください。
●**アロマオイルの香りをかえるときは…**
吹出口を取りはずし、アロマポット内のスポンジを取り除き、食器用中性洗剤で洗ってください。そのあと洗剤が残らないように水でよくすすいでください。
新しいスポンジを使ってください。

6 日常の点検・手入れ

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造はしない。
発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

分解禁止

●お手入れの際は、必ず電源スイッチを「OFF」にして電源プラグをコンセントから抜く。
●本体ごと水の中につけたり、本体を水洗いしたり、スイッチ部に水をかけたりしないでください。
ショート・感電のおそれがあります。

抜く

■水タンクの掃除（給水のつど、おこなってください。）

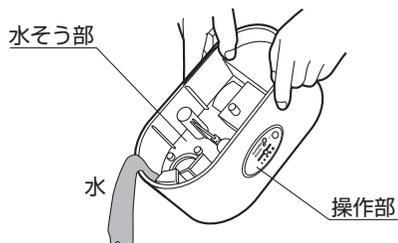
●水タンクに給水するつど、水タンクに1／2程度の水を入れ、ふり洗いして、水タンク内の汚れを取り除いてください。
（4 使用前の準備 を参照してください。）

■本体の掃除（1週間に1回以上）

お願い

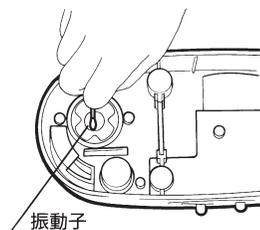
ベンジン、シンナー、洗剤、薬品類、みがき粉、化学雑巾などは使用しないでください。
また、熱湯（40℃以上）で洗わないでください。変形、変色、変質の原因になります。

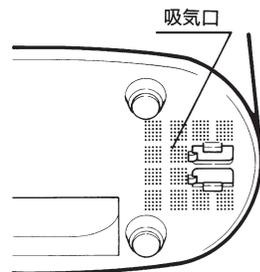
1.水タンクをはずし、水そう部の水を捨てます。

絶対に操作部側に排水しないでください。電気部品が水濡れして危険です。

2.水そう部の中の振動子の表面を手入れします。

柔らかい布でふいてください。特に振動子の表面を傷つけると故障の原因となりますので、金属性のブラシなどでこすらないでください。水そう部の内部のよごれが気になるときは、綿棒やスポンジなど柔らかいものを用いて洗ってください。

お願い

洗剤で洗うと霧の出かたが少なくなりますのでおやめください。

3.吸気口の掃除をします。

本体底の吸気口に付着したほこりを1箇月に2回以上掃除機などで取り除いてください。

4.本体の汚れを取ります。

柔らかい布でふいてください。落ちにくい汚れは、中性洗剤溶液に浸した布を固くしぼってふき取り、そのあと洗剤が残らないように水ぶきしてください。

5.アロマポットの掃除

吹出口を取りはずし、食器用洗剤で洗ってください。そのあと洗剤が残らないように水でよくすすいでください。

■電源プラグ・コンセント（1箇月に1回以上）

●電源プラグ、コンセントにほこりや汚れがたまると、火災の原因となります。1箇月に1〜2回、電源プラグをコンセントから抜いて、付着したほこりや汚れを取り除いてください。

7 修理を依頼される前に

次の表に従ってお調べいただき、それでも具合の悪い時は、お買い求めの販売店または別紙の お客様相談窓口一覧 にご連絡ください。

症　状	調べるところ	直しかた
風も霧も出ない。	電源プラグが、コンセントにしっかり差し込まれていますか。	電源プラグを、確実にコンセントに差し込んでください。
	電源スイッチが「▬ON」になっていますか。	電源スイッチを「▬ON」にしてください。
風は出ているが霧が出ない。	給水タンクに水が入っていますか。	水を補給してください。
	フロートに水あかや鉄片が付着していませんか。	フロートを掃除してください。
	振動子の表面に水あかや堆積物がたまっていませんか。	振動子を掃除してください。
	振動子の寿命。	振動子を交換してください。 （販売店に依頼してください。）
霧の出かたが少ない。	水温や室温が低くありませんか。	給水温度、室温が低いときは、20〜30分運転するとやがて多くなります。
	加湿調節つまみが「∘」になっていませんか。	加湿調節つまみを「●」の方にしてください。
	水が水そう内にたくさん入っていませんか。	コンセントから電源プラグを抜き、いったん水そう部の水を捨ててから、水タンクをセットし直してください。
	油や洗剤や薬品などが水に混入していませんか。	水タンクと水そう部の水を捨て、すすいだ後、乾いた布で水滴をよくふき取ってから、セットし直してください。

8 保管

保管のしかた

保管する場合は 6 **日常の点検・手入れ** をおこなってください。
水タンク、本体の排水後は、陰干ししてよく乾燥させてから、包装箱に入れるか、ポリ袋をかぶせて高温多湿の場所をさけて、保管してください。

9 仕様

型式の名称		TUH−A350
種類		超音波式
使用水		水道水
製品能力電気特性	加湿能力	0.35L/hまで無段階調節
	連続加湿時間	約8.5時間(最大加湿時)
	適用床面積のめやす	6〜10畳
	水タンク容量	3L
	電源ヒューズ	125V　1A
	電源	単相100V　50/60Hz
	定格消費電力	43/41W
	電源コード	約2m
付属品		アロマオイル・スポイト
外形寸法		幅260×奥行120×高さ300mm
質量		2.5kg(水を除く)

10 保証とアフターサービス

●**この製品には保証書がついています。**(裏表紙についています。)
保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、所定事項の記入および記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

●**保証期間はお買い求めの日から1年間です。**
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

●**保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。**
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により修理いたします。費用など詳しいことはお買い求めの販売店にご相談ください。
当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

●**加湿器の補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後6年です。**
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

使用中に異常が生じたときは、直ちに電源プラグを抜き、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
アフターサービスをお申しつけいただくときは、右のことをお知らせください。

型　　式…TUH−A350
故障状態…できるだけ詳しく
ご氏名・ご住所・お電話番号

●アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合、お買い求めの販売店または別紙の **お客様相談窓口一覧** までご相談ください。

●ご贈答、ご移転により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、販売店または別紙の **お客様相談窓口一覧** までご相談ください。

TOYOTOMI

トヨトミ超音波加湿器保証書

型　　式		TUH－A350	
※　保　証　期　間		お買い求め日より１年間	お買い求め日　　　　年　　月　　日
※ お客様	ご住所 ご芳名	〒　　　　　　　　　　　TEL	
※ 販売店	住　所 氏　名	〒　　　　　　　　　　　TEL ㊞ またはサイン	

（※印欄に記入がない、あるいは購入・支払いを証明するものがない場合は無効となりますから必ずご確認ください。）

本保証書は、本書記載の内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。

株式会社 トヨトミ

〒467-0855　名古屋市瑞穂区桃園町5番17号　TEL052-822-1144

無料修理規定

1. お買い求め日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意に従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、当社が無料修理いたします。
2. 無料修理をお受けになる場合は、本書あるいは購入日・支払いを証明するものをご提示のうえ、お買い求めの販売店または当社にご依頼ください。
3. ご転居・ご贈答品等で、本書に記入してあるお買い求めの販売店に修理がご依頼できない場合には、当社へお問い合わせください。
4. 保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。
   - イ．使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
   - ロ．お買い求め後の落下・転倒・衝撃・輸送等による故障及び損傷。
   - ハ．火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害や異常電圧などによる故障及び損傷。
   - ニ．居室用加湿以外（例えば、温室や業務用の使用、車両・船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
   - ホ．本書の提示がない場合。
   - ヘ．本書にお買い求め年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き替えられた場合。通信販売等で購入され、それを証明する商品の送り状・支払明細書の提示がない場合。ネット販売を利用した個人売買品や譲渡品、中古品（再生品）の修理。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

●この保証書は、本書に明示した期間、条件の下において無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等について、ご不明な場合は、お買い求めの販売店または当社にお問い合わせください。

●保証期間経過後の修理等について、詳しくは「保証とアフターサービス」の項をご覧ください。

●お客様の個人情報は、当社規定により、厳格に管理します。保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

修　理　メ　モ	
年 月 日	
修理内容	
担 当 者	

お客様へ…おぼえのために記入されると便利です。

型　　式	TUH-A350	お買い求め年月日	年　　月　　日
お買い求め店名	（電話番号）（　　　　）　　－		